教育目標 「 知性豊かに 心さわやか たくましく生きる 」

志 学校だより

R4 .5 .30

四日市市立内部中学校　第８号

修学旅行 感謝の気持ち

５月２３日（月）から２５日（水）の３日間で、修学旅行を実施しました。コロナ禍にありながら、参加した生徒が大きなトラブルもなく、安全に旅行ができたことは、様々な方のご理解とご協力があってのことです。心より感謝申しあげます。

今年度もコロナウイルス感染症の関係で、当初予定していた東京方面への旅行ができなくなりました。また、市教委より、貸し切りバスのみで移動するように指示がありました。そこで、学年を中心に相談し、淡路島にあるホテルを拠点として、大阪市、徳島県、神戸市における学習や活動を計画しました。出発直前まで、本当に実施できるかどうか心配していましたが、生徒たちや先生方の思い、様々な方のご理解やご協力により、実施することができました。くり返しますが、本当に感謝の気持ちで一杯です。ただ、やむを得ず参加できなかった生徒がいたことには、とても心が痛んでいます。

初日は、大阪市の港区にある「海遊館」を最初に訪れ、海洋生物の生態や環境問題について視点をおいて見学を行いました。その後は、「ユニバーサルスタジオジャパン」において、ホスピタリティの視点で見学するとともに、仲間たちと共に、アトラクション等で楽しい時間を過ごしました。コロナウイルス感染症の関係で、大規模テーマパークを訪れるのは久し振りだった生徒が多く、マスク越しでも、心からの笑顔で過ごしていることが伝わってきました。夕食は、仲間と落ち着ける場所を、それぞれに探して取りました。そして、宿泊地である「グランドニッコー淡路」に到着し、一日の振り返りを行うとともに、入浴等をすませました。全客室がオーシャンビューの広くてきれいな客室で、同室の仲間との会話がはずみました。また、ふかふかのベッドでゆっくりと眠ることができました。

２日目は、バスで「大鳴門橋」を渡って徳島県まで移動しました。まず、「大塚国際美術館」へ向かい、たくさんの名画や壁画を鑑賞しました。実物大で凹凸まで忠実に再現してある多くの美術品に出会って感動するとともに、歴史の深さや文化を知り、先人の偉大さ等を感じることができました。その後は、「うずしお観潮船」に乗り、大鳴門橋の下まで行き渦潮を見ました。船からの景色も大変美しいものでした。自然の偉大さに触れることができました。「牛めし弁当」を食べた後は、各クラス単位で「大谷焼絵付け」を体験しました。これまで体験したことのないことで、なかなかうまく描けなかった生徒もいれば、

見事な作品に描きあげた生徒もいました。自分だけの作品ですので、今から焼き上がりが楽しみです。この日はホテルでの夕食でしたが、これまでに食べたことがないようなご馳走でしたので、仲間と楽しく食べることができました。もちろん、距離や会話には十分に注意して食事をすすめました。その後は各部屋で、ゆっくりと疲れをとりました。

３日目は、朝食を食べた後、身支度を整えてホテルを後にし、「人と防災未来センター」へ向かいました。語り部の方のお話を聴くグループと、館内を見学するグループに分かれて、『阪神・淡路大震災』で起こったことを知るとともに、地震や災害に対して、防災と減災に、どのように取り組んでいけばよいかを学びました。防災を、決して他人ごとではなく、自分たちの問題として考える良い機会となりました。その後は、「神戸海洋博物館」を訪問し、国際港湾都市である神戸の歴史、船や港の仕組みや役割について見学を通して学びました。昼食は三宮駅近くの「萬寿殿」で中華のコースを味わいました。そして、南京町や異人館を班別分散で見学しました。３日間を通してお天気も良く、気持ちよく活動することができました。

修学旅行は学習活動の一環ですが、**今回の旅行でも多くの学びがありました。「人と・防災未来センター」における防災学習はもちろんのこと、「渦潮」は理科の地学、「海遊館」は理科の生物や環境問題、大谷焼や「美術館」は当然美術、そして全行程は社会の地理等と、これまで学習した事と結び付けて、見学や体験をしている生徒が多くいました。**中には、淡路島が何県かを知らないで旅行に来ている生徒もいましたが、実際に訪問したことで、生きた知識として残ることでしょう。やはり旅に出ることは何よりもの学習ですし、人間を豊かにします。

また、それだけではなく、仲間と協力すること、折り合いをつけること、時間を守ること、身支度を整えること、健康に留意すること等、多くのことを学ぶことができました。出発前に実行委員会のメンバーから、「みんなで楽しむこと、マナーを守ること」等の呼びかけがありましたが、どちらもしっかりと実践できました。３日間で心が成長しました。

最後に、タイトルの通り今回の修学旅行は『感謝』の一言につきます。行程を何度も検討した先生方、その要請に真摯に対応してくださった旅行会社の担当の方、安全にバスを運行してくださった運転手の皆さん、生徒たちの安全を考慮しつつも修学旅行の実施を確保してくださった教育委員会、そして何よりも、ご理解ご協力いただいた保護者の皆様、おかげで、生徒たちにとって楽しく充実した修学旅行となりました。本当にありがとうございました。